

サイ チェン

再見。

また会おうね。

なんしょうし

～中国南昌市第一中学親善交流～

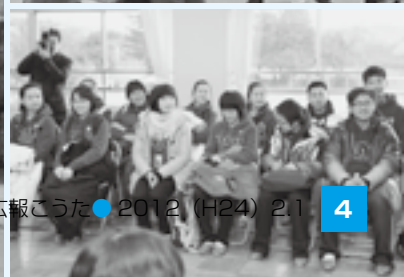
昨年の12月19日から21日までの3日間、中国南昌市第一中学の生徒12人、先生4人が幸田町を訪れました。中国南昌市第一中学へは、平成22・23年度の中学生海外派遣事業で訪問しており、今回初めて幸田町が受け入れ側となった親善交流が実現しました。

南昌市から訪れた生徒らは、幸田中学校の生徒の家に2泊3日でホームステイをし、その滞在期間中に幸田中学校でさまざまな交流・意見交換、授業や部活動の体験、日本の生活文化について学びました。

12月19日。幸田町役場での歓迎会を終え、幸田中学校へ。

幸田中学校の校門には「熱烈歓迎！」の大きな横断幕がありました。門を1歩進むと、待ちきれなかったとばかりに幸田中学校の生徒らが手を振りながら出迎えます。「你好（こんには）！」覚えてたの中国語、それでも元気いっぱい
の歓迎に南昌市から訪れた皆さんにさっそく笑みがこぼれます。

校舎内の至るところに「覚えよう！中国語会話」「南昌市ってどんなところ？」の大きな掲示物。この日のために生徒らが作成したものです。短い期間でも、できるだけ多くの交流をはかろう、そんな思いが校舎中にあふれていました。



3日目は、日中中学生交流会。幸田中から11人、南部中から5人、北部中から6人の生徒が参加し、お互いの国の文化などについて意見交換をしました。ゲームを交えながらの楽しい交流会。笑顔いっぱいの充実した時間となりました。

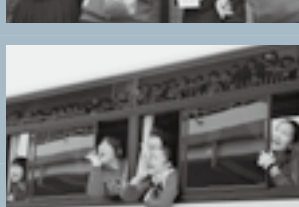
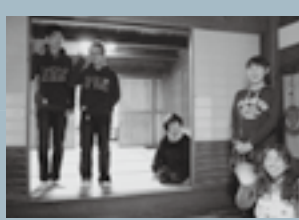


この日の午後にはもう「お別れ交流会」です。2年生による大玉ドッジボールや長縄跳びなどのレクリエーション、全校生徒による合唱や幸田中名物「島唄ダンス」が披露され、また、南昌市の生徒らも伝統の舞を披露し、体育館は大きな拍手に包まれました。



そして、その大きな拍手が、お別れの時を伝えます。

体育館に全校生徒で花道をつくり、南昌市の友達を見送ります。体育館の外に出ると、全校生徒がバスに手を振っていました。「再見サイチェン（またね）！」泣きながらバスから手を振る姿に、思わず走り出してバスを追いかける幸田中の生徒。交流の深さを物語る、何よりももの証がそこにはありました。問合せ 学校教育課学校教育G（内線422）



ホストファミリーと南昌市の生徒の初顔合わせではやっぱりどこか、そわそわ。

それでも笑顔いっぱいでも迎えてくれる家族の姿に少しずつ緊張がほぐれていきます。ホームステイ先では、料理のお手伝いをしたり、抹茶をたててみたり、ホストファミリーと買い物に出掛けたり、日本の生活文化を体験することができました。



2日目は、幸田中学校での歓迎セレモニーのあと、各ホストファミリーのクラスに混ざって一緒に授業を受けました。

数学、英語、理科、家庭科、音楽、美術、体育、習字。先生たちも時折、少しの中国語や英語を織り交ぜながら授業を通して生徒同士のコミュニケーションを深めます。

学校給食も初めての体験です。中国では学校給食がある学校はごく少数。^{ハオチー}「好吃（おいしい）！」ととても好評のようでした。



スポーツ交流もありました。部活動を体験しながらコミュニケーションを図ります。同じ中学生同士、一緒に楽しく体を動かして一緒に笑い合うことで両校生徒の距離は一気に縮まりました。

